

海洋資源開発技術プラットフォーム

メタンハイドレートや海底熱水鉱床の海洋資源開発の実用化のためには、我が国の優れた海洋技術の活用が不可欠である。また、海洋資源開発の活性化は、我が国の海洋産業の発展に大いに寄与するものである。海洋基本計画に定める海洋資源開発の目標を実現し、海洋産業が我が国の経済成長に貢献していくためには、海洋資源開発に積極的に取り組む我が国の資源開発会社と、海洋開発に長年の実績を有する我が国の海洋産業が連携を強化し、オールジャパン体制で世界に先駆けた海洋資源開発に取り組んでいく必要がある。そこで、海洋エンジニアリング、機器製造、海洋サービス等の海洋産業と資源開発会社が一堂に会し交流を深め、資源開発プロジェクトの現状、将来見通し、必要となる技術、新技術の利用可能性、取り組むべき研究開発課題等、海洋資源開発に関する様々な技術情報について共有を促進するためのプラットフォームを平成29年6月に設立した。

<海洋産業PTとの関係> H28年度の新海洋産業振興・創出PTの抜粋
 海洋産業育成の観点から企業ヒアリングを実施し、ファイナンス支援や実績の蓄積、人材維持など企業が抱える支援ニーズを把握しとりまとめるとともに、別途行う省庁ヒアリングから、政府の支援策についても一覧に整理し、適切な支援が行われているか評価。
 → 海洋資源開発技術プラットフォームの創設を提言

<開催実績>

第1回	平成29年6月7日(水)	会合188名	懇親会101名
第2回	平成30年2月2日(金)	会合213名	懇親会104名
第3回	平成30年10月5日(金)	会合241名	懇親会105名
第4回	令和元年6月6日(木)	会合250名	懇親会110名
第5回	令和3年4月20日(火)	会合300名	懇親会中止
第6回	令和4年4月25日(月)	会合314名	懇親会中止

海洋産業タスクフォース(民間主体)

日本の海洋産業の発展、拡大を図るため、「海洋資源開発技術プラットフォーム」との緊密な連携の元、会員会社・組織の協同による下記海洋開発関連プロジェクトの立案、推進、法人化等をサポートする活動を行うことを目的とする。

- (1) 海洋資源開発のコストダウンに資する研究・開発プロジェクト
- (2) 海洋資源開発を実現するために必要で、国内企業の製品、技術、保守技術等の育成に資する新技術の研究・開発・実績拡大に資するプロジェクト
- (3) 将来の海洋資源開発に関するフィジビリティスタディ等調査・検討プロジェクト
- (4) 本邦の海洋資源開発に関する法律、基準、ルール、規格の充実とデファクトスタンダード化に資する調査・検討プロジェクト、等

総合海洋政策本部の枠組み

